



東和病院だより

発行日 2022年7月

夏号

ありがとうございました。工藤銀河先生



令和4年4月1日から3か月間、東和病院医師として外来診療、入院治療、夜間・休日の日当直をしていただきました工藤先生が6月30日をもって中部病院へ戻られます。東和病院そして東和地域の皆さんへメッセージをいただきました。



岩手県立中部病院 総合診療科の工藤銀河です。東和病院には3か月間お世話になりました。総合診療科と聞いても、何の専門家なのかピンと来ない方が多いと思います。それもそのはず、総合診療科は専門という概念にとらわれず広く診療を行う科だからです。どんな症状でも診察し、必要に応じて専門科に紹介する。そういう仕事をしています。

東和病院では内科診療・外科診療・訪問診療・健康診断と、様々な診察を担当できました。また、休日には土澤アートクラフトフェアや人気のパン屋さん、東和温泉も訪れることができました。東和地域を公私ともに満喫し、総合診療に必要な広い視野を養うことができたと感じます。

一旦東和からは離れますが、また仕事や遊びでうかがえる機会を楽しみにしています！



東和病院を受診される方へ

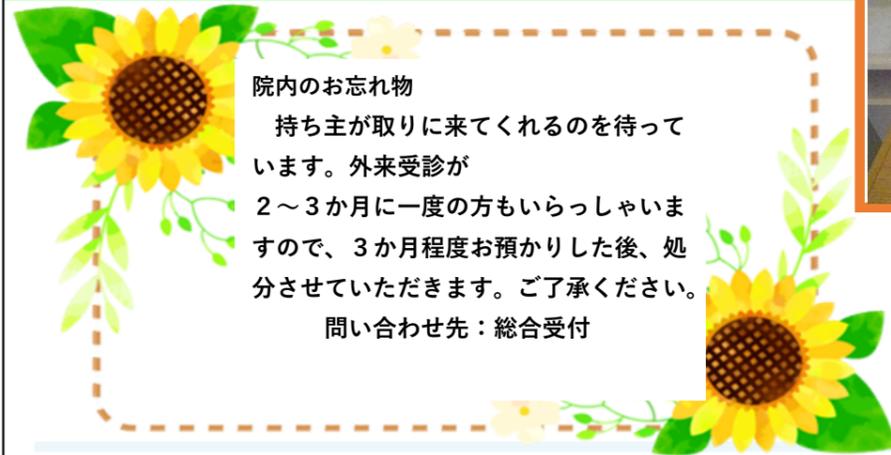
東和病院を受診される方で、呼吸器症状（咳、鼻水、鼻づまり、咽頭痛など）や発熱がある場合は、病院の中に入る前に、お電話で問い合わせをしていただきたいです。新型コロナウイルス感染症の疑いも考え、できる限り他の患者さんとの接触を避けるために、病院側の考えている受け入れ体制もありますので、どうぞ受診前に、お電話で一度ご相談ください。



問い合わせ先 東和病院 0198-42-2211

外来診療のご案内 (2022年7月19日から)

	月	火	水	木	金	土、日	
午前 内科	田村 星 佐野	田村 堀井 佐野	佐久山 磯・菊池 佐野	佐久山 磯・菊池 長濱	佐久山 田村 佐野	当直医	
	長濱	長濱			長濱		
外科	佐藤 磯	佐藤 磯・菊池	佐藤 長濱	佐藤 田村	佐藤 菊池		
泌尿器	星						
専門外来（予約制）							
午後 神経内科			田村（第2.4水曜日）				
呼吸器科			勝又（第2.4水曜日）				
循環器科		中央病院（第3火曜日）					
整形外科				笹治（第2.4木曜日）			



院内のお忘れ物
持ち主が取りに来てくれるのを待っています。外来受診が2~3か月に一度の方もいらっしゃるしますので、3か月程度お預かりした後、処分させていただきます。ご了承ください。
問い合わせ先：総合受付



1階の階段下にあります。



編集後記
暑い日が続いています。家の中にも脱水症になる可能性がありますので、喉が乾く前に水分摂取することが予防となります。私は朝食に夏バテ防止のビタミンC摂取に果物を食べ、職場にもMy水筒を持参し、いつでも冷水を飲めるようにしています。夏を乗り切りましょう。E.M

部門紹介

栄養管理科

栄養管理科では、「給食管理」と「栄養管理」の業務を、病院職員（管理栄養士1名）と、(株)グリーンヘルスケアサービス東日本の職員（管理栄養士2名、栄養士2名、調理員3名）が協働し、より良い給食の提供に努めています。

給食管理業務

入院中の食事は、医療の一環として、医師の指示に基づき、患者さんの病状に応じて提供されています。また、安心して食べていただくために、「大量調理施設衛生管理マニュアル」に沿った衛生管理を徹底して行っています。

栄養を十分にとることが病状の回復につながり、食べることが喜びとなるように、おいしく安心して食べてもらえる献立作成と、患者さんの声を反映させるように努力しています。

栄養管理業務

入院中の患者さんの栄養状態を把握し、食欲不振時や食べずらさを改善する方法などを考え栄養面からのサポートを行います。また、外来の患者さんへは、食事療法の実践について継続的サポートを行っています。

私たちが、入院中のお食事を作っています！



(株)グリーンヘルスケアサービス東日本の職員

4月～お花見膳～



7月～七夕そうめん～



1月～元旦おせち～



看護の日のイベント

ふれあい看護体験

5月11日に、高校生を対象に看護師の仕事体験と病院見学を行いました。コロナ禍ということで、患者さんに実際に対面することはできませんでしたが、看護技術の体験や看護師からの話を聞いて、「看護師になることを決めた」「将来の選択肢が増えた」など前向きな意見が聞かれました。

看護科



血圧測定

採血疑似体験

特定行為看護師 遠藤幸子さんの紹介



2021年度特定行為研修に参加し、特定看護師となりました。

特定行為とは・・・

診療の補助であり、専門的な知識・技能が必要とされる診療補助行為をあらかじめ医師の指示として作成された「手順書」に基づいて医療行為を行うことです。

外来・入院・在宅において、医師を待つことなく安全に配慮しながら個別性のある適切な処置をタイムリーに実践することが可能になります。特定行為を有効に活用し、院内医療チームと地域の多職種とともに切れ目のない質の高い医療の提供を目指したいと考えております。

院内では、外来看護師として勤務しながら、床ずれのある入院患者への処置や外来通院されている胃瘻カテーテル交換、膀胱瘻の交換などにも携わっております。



東和病院では、3区分6行為の診療補助行為が可能です。

ろう孔管理関連	創傷管理関連	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
<ul style="list-style-type: none"> 胃瘻カテーテルもしくは腸瘻カテーテルまたは胃瘻ボタンの交換 膀胱ろうの交換 	<ul style="list-style-type: none"> 褥瘡または慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 創傷に対する陰圧閉鎖療法 	<ul style="list-style-type: none"> 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 脱水症状に対する輸液による補正

診療応援に来ていただいている医師の紹介



呼吸器内科
堀井 洋祐 医師
(県立中部病院より)

趣味：特になし
特技：後輩の指導
好きな食べ物：肉（ジビエ）
ひとこと：毎週火曜日の呼吸器内科外来に来ています。よろしくお願ひします。感染症についての相談もどうぞ。



脳神経内科
田村 乾一 医師
(県立中部病院より)

趣味：音楽鑑賞 鉄道好き（鉄男）
好きな食べ物：あずき 和菓子
ひとこと：第2・4水曜日の脳神経内科外来に来ています。よろしくお願ひします。